

流山市 駅周辺の将来像（流山都市計画マスタープランより一部抜粋）

将来都市構造 都市拠点の 位置づけ	駅名	土地利用基本方針
流山新拠点※ ¹	流山おおたかの森駅	本市のシンボリックな空間を形成するとともに、商業・業務・文化・行政機能の集積を図り、人々の有機的な交流やビジネスの交流、情報発信の拠点として、都市と自然が共存できるまちづくりを推進します。また、東葛飾北部地域の結節点としての役割を担う拠点づくりを推進します。
副次交流拠点※ ²	南流山駅	人口集中度の高い商業・業務機能を有する拠点づくりを推進します。
地域生活拠点※ ³	運河駅	各地域の特徴を活かし、近隣住民の日常生活を支える生活関連施設の立地を誘導し、住環境に配慮したまちづくりを推進します。
	江戸川台駅	
	初石駅	
	豊四季駅	
	南柏駅	
	流山駅	
	平和台駅	
	流山セントラルパーク駅	

※¹：総合計画でいう「中心核」を指す。流山おおたかの森駅周辺約40haを本市の中心として商業、業務、文化などの機能を配置。

※²：総合計画でいう「副次核」を指す。南流山駅周辺を本市の南の玄関口として商業、業務ほかの機能を配置。

※³：総合計画でいう「地域核」、「地区生活中心」を指す。北部・南部・運動公園地区のコミュニティの中心地区となる地域拠点や中部・東部地区の生活サービス機能の充実した近隣生活圏域。

